ISO 9001
認証取得

shindaiwa®

取扱説明書

エンジンブロワ
（背負タイプ）

EB802

⚠ 注　意

ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。また、内容をよく理解したうえでご使用ください。不適切な操作や保守は重大な事故につながるおそれがあります。なお、この取扱説明書はいつでも利用できるよう、大切に保管してください。

目　次	頁
1．安全にご使用いただくために	2
1－1　ご使用前に	2
1－2　給油	3
1－3　始動	4
1－4　作業	4
1－5　点検・整備	5
1－6　移動・保管	5
1－7　警告ラベル	5
1－8　作業時の正しい装備	6
1－9　作業環境	7
2．各部名称	8
3．仕様	9
4．組み立ての手順	9
4－1　外観と付属部品、付属工具類のチェック	9
4－2　製品の組み立て	10
5．エンジンの始動と停止	12
5－1　燃料の補給	12
5－2　エンジンの始動	13
5－3　始動困難なとき	14
5－4　エンジンの停止	15
5－5　アイドリング回転速度の調整	15
6　運転	16
6－1　バンドの調整	16
6－2　操作	17
7　点検・整備	18
7－1　日常の点検・整備	18
7－2　プリフィルター、フィルターの掃除	19
7－3　スパークプラグの点検	20
7－4　燃料フィルターの掃除	21
7－5　マフラーの掃除	22
8．長期保管	23
9．故障の診断と処置	24
9－1　エンジンが始動しない場合	24
9－2　力がない場合	25
9－3　その他の故障	26
9－4　ブロワの異常	27
10．主な消耗品	27

はじめに

弊社エンジンブロワをご購入いただきありがとうございます。この取扱説明書の「安全にご使用いただくために」を十分理解し、安全に使用してください。この取扱説明書で分からないことがありましたらお求めの販売店かお近くの弊社営業所にお問い合わせください。

エンジンブロワは吹き出す風の力で落ち葉、小枝、紙くず、空き缶などを吹き集めたり、水、雪などを吹き飛ばして掃除する機械です。ケガや火災を予防するために安全を常に心がけてください。不注意または不適切な使用は重大な事故の原因になります。

シグナル用語の説明

この取扱説明書は次のシグナル用語を使用しています。

⚠ 危　険	**取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。**
⚠ 警　告	**取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。**
⚠ 注　意	**取扱いを誤った場合に、使用者が障害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。**

1．安全にご使用いただくために



この取扱説明書をよくお読みください。



作業中は必ず保護メガネ、耳栓を着用ください。



空気吸入口に髪の毛や衣服が近づかないようにしてください。
機械に巻き込まれて、けがをするおそれがあります。



換気の悪い場所では使用しないでください。



表面が熱くなります。
取り扱いの際には手袋を使用してください。

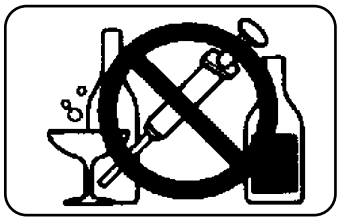
1－1　ご使用前に

⚠ 危　険

■ 屋内などの換気の悪い場所では、決してブロワを運転しないでください。排気ガスにより、ガス中毒をおこします。

⚠ 警　告

■ 取扱説明書を読んでいない人や年少者（子供）にブロワを使用させないでください。
■ 本機を他人に貸すときは、必ず取扱説明書を添付してください。
■ 排気ガスを直接吸わないでください。人体に有害です。
■ 決してブロワを勝手に改造しないでください。また、インテークカバーやマフラーなどを取り外さないでください。
■ ブロワ運転時は周辺に物が飛び散ったり、ホコリが舞い上がるので、人や動物を近づけないようにしてください。
■ 疲労、病気、酒気帯びの場合、または医薬品服用中の場合は作業を行わないでください。また作業中に体調が悪くなった場合にはすぐエンジンを止め、作業を中止してください。



■ 裾のひらひらした服、アクセサリー類、ショートパンツ、サンダルなどを着用しないでください。頭髪は肩から下に垂れないように覆ってください。機械の可動部に絡まる危険性があります。特にインテークカバーに吸い込まれないようにしてください。
■ 作業中は必ず保護めがね、耳栓、防塵マスク、防振性のある手袋をつけてください。
■ 視界の悪い夜間および天候の悪いときは使用しないでください。
■ 作業中に転倒しないように、底に滑り止めのついた靴を使用してください。
■ ガソリンを使用しますので、ブロワのそばで喫煙やたき火をしないでください。火災発生のおそれがあります。
■ 作業前に燃料漏れがないか確認を行ってください。漏れがあった場合はただちに修理してください。
■ マフラーやマフラーから出る排気は非常に高温になりますので、燃えやすい物を近づけないでください。また、マフラーのスパークアレスターは、排気口から火花が飛び出るのを抑える役目をするので、絶対に取り外さないでください。

⚠ 注　意

■ 作業前にブロワの点検を行ってください。このとき、破損した部品は交換し、ネジの脱落やゆるみのないことを確認してください。
■ 運転前にパイプ類がしっかりと取り付けられているか確認してください。
■ パイプ類を取り外す際は、必ずエンジンを停止してから取り外してください。

1－2　給油

⚠ 警　告

■ ガソリンと2サイクル専用オイルの混合および給油は、屋外の風通しのよい火気のない場所で行ってください。給油はエンジンを停止し、エンジンが冷えた後にゆっくりと燃料キャップを外して行ってください。急に燃料キャップを外すと燃料が吹き出すことがあります。
■ こぼれた燃料がブロワ本体に付着した場合はブロワから燃料を拭き取ってください。
■ 燃料の持ち運びや保管など、取扱いには十分注意してください。

1－3　始動

⚠ 警　告

- エンジンの始動は取扱説明書に従い、平らな場所にブロワーを置いてから行ってください。
- 始動時は周囲の安全を確認して行ってください。
- 漏れた燃料への引火防止のためエンジンの始動は、給油場所や燃えやすい物から３m以上離れた場所で行ってください。

1－4　作業

⚠ 警　告

- 破損していたり、必要な部品がしっかりと組み付けられていない場合は決してブロワを運転しないでください。事故の原因となります。
- しっかりした足場の上で安定した姿勢で作業を行ってください。
- ブロワを落としたり、何か異物が当たったときは、エンジンを止めて損傷の有無を調べてください。もし損傷があれば使用せず、すみやかに修理してください。
- ブロワの吹き出し口は人や動物に向けないでください。また、作業中常に吹き出し方向に注意を払ってください。
- 燃料の漏れについて、定期的に確認してください。
- 燃料が漏れた場合は、ただちにエンジンを停止して、火気を近づけないようにし、修理してください。
- 衣服に燃料が付着しないように注意してください。もし、付着した場合はただちに衣服を着替えてください。

⚠ 注　意

- 作業中にノズルの吹き出し口や空気吸い込み口をふさがないでください。吹き出し圧力により、ノズルが外れたり、過回転によりブロワの故障の原因となります。
- パイプやノズル無しで運転しないでください。過負荷によりエンジンが故障の原因になります。
- 運転中または停止直後に高温部（マフラー、シリンダー、エンジンカバーなど）に触れないでください。ヤケドをします。
- 運転中は高電圧部（プラグキャップ、プラグコードなど）に触れないでください。感電するおそれがあります。
- 高速での運転時にブロワーを直接地面に置かないでください。砂、草、落ち葉、ゴミ等が吸い込み口から入りファン等を損傷させたり、ノズルからホコリや砂が吹き出して他の人がケガをするおそれがあります。

1－5　点検・整備

⚠ 警　告

■ 点検・整備（掃除など）を行うときは必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。
■ ガソリンはたいへん引火しやすいので、点検・整備は風通しのよい火気のない所で行ってください。
■ 燃料キャップ、燃料タンク、燃料パイプおよびキャブレターなどから燃料漏れがないか定期的に確認してください。
■ 整備や修理を行うときは弊社純正部品を使用してください。 他社の部品を使用すると重大な事故になる危険性があります。
■ 取扱説明書に記述がない整備や修理は行わないでください。記述のない整備や修理はお求めの販売店かお近くの弊社営業所に依頼してください。

1－6　移動・保管

⚠ 警　告

■ 移動時あるいは保管時にはエンジンを停止してください。

⚠ 注　意

■ 保管や移動の際は、燃料漏れ、破損、ケガなどを防止するために、ブロワが転倒しないように安定した場所に置いてください。
■ 年少者（子供）の手が届かない乾燥した冷暗所に保管してください。
■ ２～３日以上保管する場合は燃料タンクおよびキャブレター内の燃料を空にしてください。

1－7　警告ラベル

■ 警告ラベルに破損や剥がれがある場合、お求めの販売店かお近くの弊社営業所で新しいものと交換してください。



1－8　作業時の正しい装備

体にフィットする服、手袋を着用してください。
機械や枝に引っかかりやすい服装や宝石類をつけたままでの使用はお止めください。
髪の毛は肩から下に垂れないようにまとめてください。



つま先の開いた靴やサンダル、滑り止めのない履物を着用しての使用はお止めください。
裸足で使用しないでください。

図1

1－9　作業環境

室内など換気の悪い場所では、決して
ブロワを運転しないでください。

空気吸い込み口にごみが付
着することがあります。
ごみが付着した場合、エンジン
を停止し、ごみを取り除いてく
ださい。

周りの人から15m以上離れて
使用してください。



部品が破損していたり、ボ
ルト類が緩んでいたり、損
失している場合は使用し
ないでください。

特に雨の日など、滑りやす
い状態での使用は十分
注意してください。天井、
棚やはしごに乗っての使
用はお止めください。

暑い日や寒い日は長
時間使用しないよう
にしてください。

飛散物による周りの人への被害
がないよう注意してください。
また、周りの人にむけて使用しな
いでください。小石などが飛び怪
我をする恐れがあります。

突風や障害物に跳ね返って
くる飛散物には絶えず注意
し、ご使用ください。

図2

2．各部名称

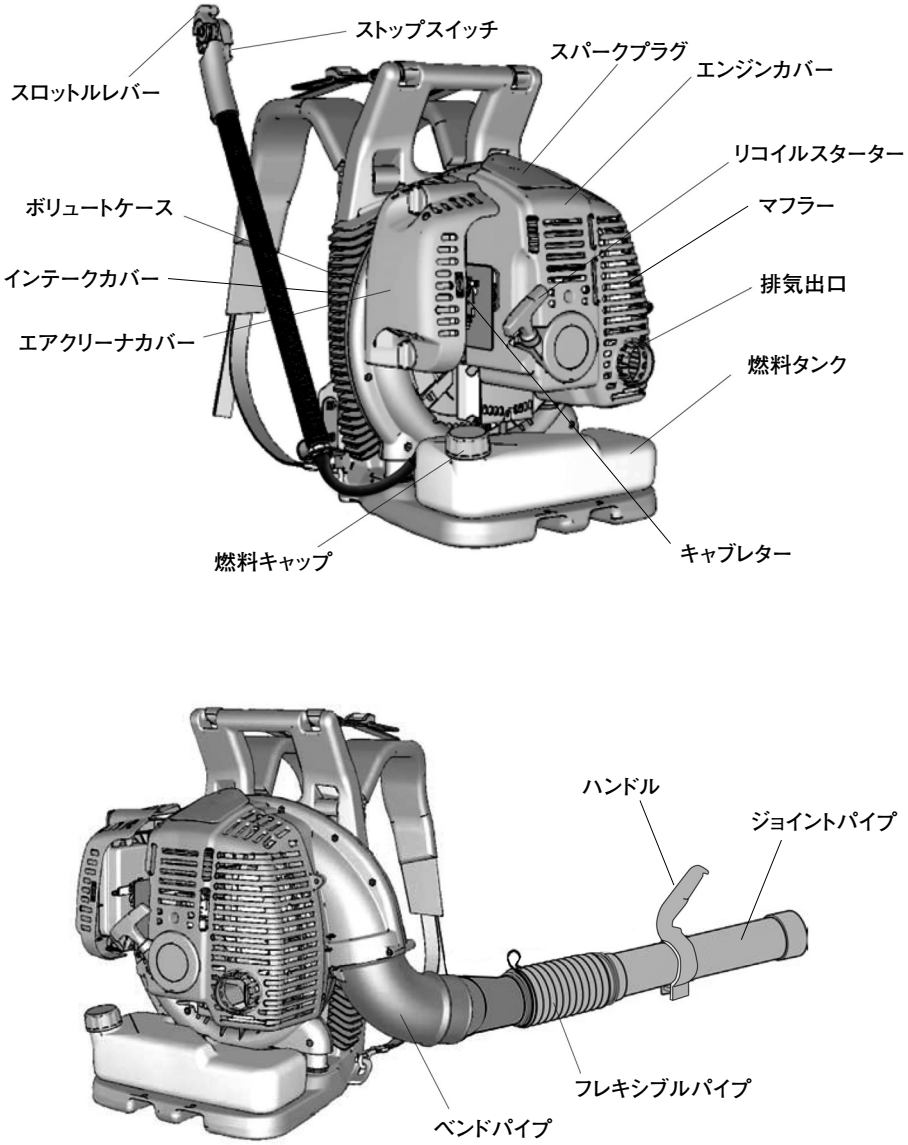

スロットルレバー
ストップスイッチ
スパークプラグ
エンジンカバー
リコイルスターター
ボリュートケース
マフラー
インテークカバー
排気出口
エアクリーナカバー
燃料タンク
燃料キャップ
キャブレター
ハンドル
ジョイントパイプ
フレキシブルパイプ
ベンドパイプ

図3

3．仕様

本体乾燥質量(kg)	10.4
本体寸法(長さ×幅×高さ、mm)	325×465×545
エンジン型式	空冷2サイクルエンジン
ボア×ストローク(mm)	49×42
排気量(ml)	79.2
最大出力	3.2kW@8,000min^{-1}
燃料	混合燃料(ガソリン:新ダイワ純正2サイクルオイル=50:1) (ガソリン:2サイクルオイル=25:1)
キャブレター	ダイヤフラム式、始動ポンプ付き
点火方式	電子点火
スパークプラグ	チャンピオン　RCJ6Y
始動方式	リコイルスターター
停止方式	押しボタン方式(アース式)
燃料タンク容量(L)	2.0
マフラ(排気装置)	スパークアレスタ付きマフラ
エアクリーナー	プリフィルター付乾式

※本体乾燥質量はブローパイプ一式を除く
※仕様は予告なく変更されることがあります。

4．組み立ての手順

4－1　外観と付属部品、付属工具類のチェック

この製品は工場出荷の際、厳重な検査を行っておりますが、念のためにこの製品の損傷やボルト、ナット類のゆるみなどがないか点検してください。また、付属部品の欠品がないか点検してください。
もし、点検の結果、異常や欠品があった場合はただちにお求めの販売店か弊社営業所へご連絡ください。

付属部品

①フレキシブルパイプ
②ジョイントパイプ
③ロングノズル（大風量タイプ）
④ショートノズル（高風速タイプ）、⑤ストレートパイプ
⑤ハンドル（ボルト、ちょうナット、ナット付き）
⑦クランプ（ϕ102mm）、⑧クランプ（ϕ89mm）
⑨アースコード（静電気軽減用）

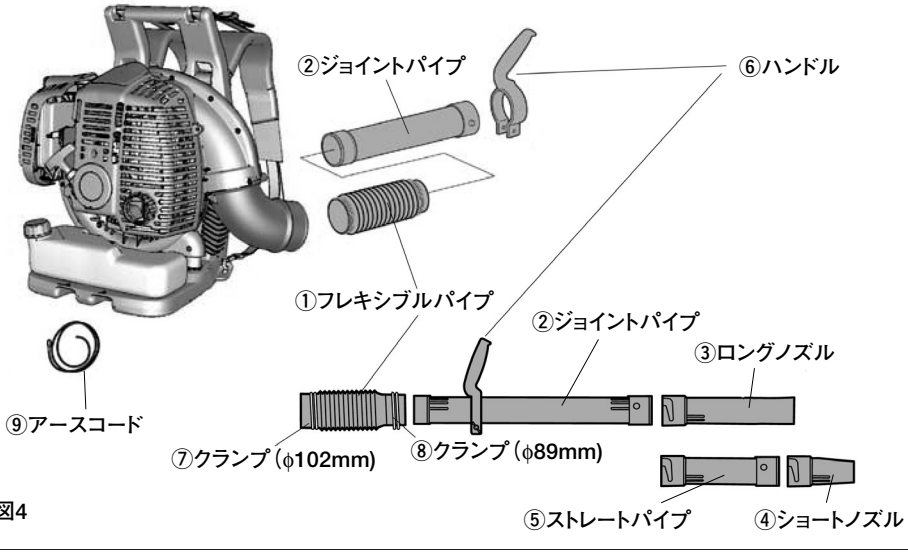


図4

付属工具

・プラグレンチ
・ヘキサレンチ（4mm、5mm）

4－2　製品の組み立て

⚠ 注　意

- **パイプとノズルを取り付ける前に、エンジンを始動しないでください。**
- **パイプとノズルは確実に接続してください。作業中にふき飛びケガをするおそれがあります。**
- **エンジンを運転中に、パイプやノズルを取り外さないでください。又、エンジンを運転中に他の部品の取り付け取り外しをしないでください。**

（1）製品を平らな地面あるいは作業台に置き、図4にあるような方向にしてください。
（2）袋からアースコードを取り出し、図のエンジンカバー部のボルトに共締めしてください。(図5参照)
（3）ベンドパイプをちょうど良い角度になるように回し、アースコードをϕ102mmのクランプとフレキシブルパイプの内側に通してください。(図5参照)
（4）フレキシブルパイプをベンドパイプに取り付けϕ102mmのクランプで図のようにしっかりと取り付けて下さい。(図4、図5参照)
※ベンドパイプが自由に動くことを確認してください。
動きが渋い場合は、クランプを緩めアースコードをたるませるように引っ張り動きを再確認して下さい。
（5）アースコードをジョイントパイプに通し、ϕ89mmのクランプを図のようにジョイントパイプに締め付けてください。(図4、図5参照)
（6）ハンドルをジョントパイプに、ボルト、ちょうナット、袋ナットで締め付けてください。(図4参照)
（7）アースコードの端をジョイントパイプ上に折り返してください。(図5参照)
（8）ロングノズル（大風量タイプ）のロック溝をジョイントパイプ上のロックピンにはめ込んでください。その際アースコードを挟み込んでください。(図6参照)
※ショートノズル（高風速タイプ）を使用する場合はストレートパイプを使用ください。

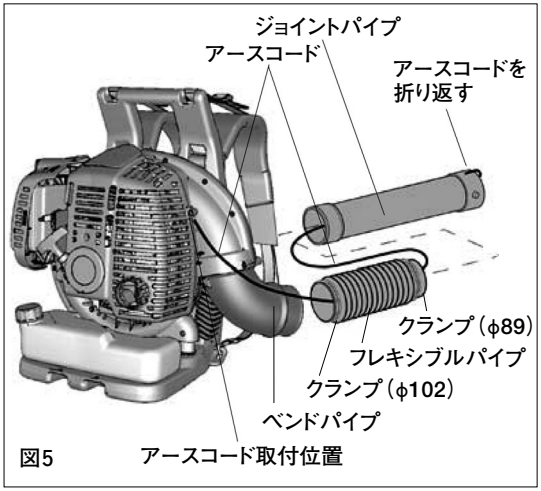


図5

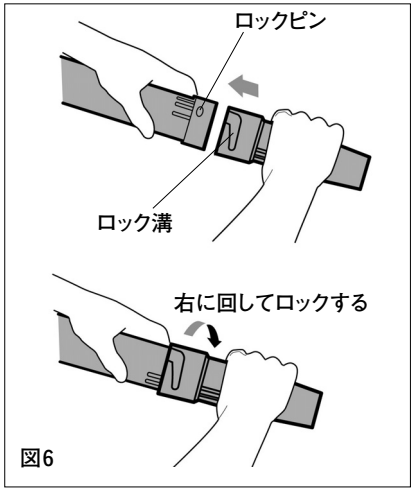


図6

5．エンジンの始動と停止

5－1　燃料の補給

⚠ 警　告

■ **給油は屋外の風通しのよい火気のない場所で行ってください。**
■ **平らな場所で給油してください。**

（1）燃料

燃料は必ず、無鉛ガソリン（レギュラーガソリン）と2サイクルエンジンオイルを混合した混合燃料を使用してください。
燃料の混合は安全容器に2サイクルエンジンオイルを先に入れ、後からガソリンを加えてください。
新ダイワ純正2サイクルエンジンオイルの場合は50：1、その他2サイクルエンジンオイルの場合は25：1の割合で混合した混合燃料を使用してください。

ガソリン（L）	2サイクルエンジンオイル（ml）	
	50：1	25：1
1	20	40
4	80	160
8	160	320

⚠ 注　意

■ **正しい混合比の燃料を使わないと、適正な性能が出なかったり、エンジンの焼き付きの原因となります。**

（2）給油

⚠ 注　意

■ **異物やゴミをタンク内に入れないために、キャップを外す前に燃料キャップやそのまわりをよく掃除してください。**
■ **常に新しい燃料を使用してください。2～3か月以上放置したり、異物が混入した燃料を使用すると故障の原因となります。**
■ **燃料タンクに直接燃料を入れて混合することは絶対にしないでください。焼き付きや故障の原因になります。**

①給油する前に燃料をよく混合してください。
②燃料タンクの燃料キャップはゆっくりと外し、燃料を補給してください。
③給油後は確実にキャップを締め、燃料タンクから燃料漏れのないことを確認してください。

5－2　エンジンの始動

⚠ 注　意

■ 始動時にリコイルスターターのロープを最後まで引かないでください。ロープの寿命が短くなります。
■ リコイルスターターを急に離さないでください。正しく巻き込まれないことがあります。

（1）ブロワーを平らな地面に置いてください。

（2）スロットルレバーを始動位置（アイドリング位置）にあわせてください。

（3）エンジンが冷えているとき、または燃料切れで燃料を補給したとき
①キャブレターの下についている始動ポンプ（透明の半球形）を数回押します。音が変わったらやめてください。
②チョークレバーを上の位置（|◢|）にあげます。
③左手でブロワのケースを押さえて、リコイルスターターをゆっくり引きます。
重く感じたところから勢いよく引きます。
エンジンが始動するまで、くり返し引いて下さい。

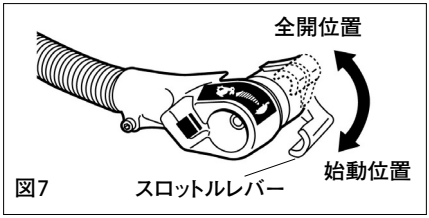


図7

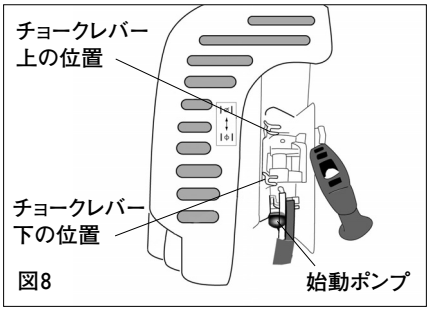


図8

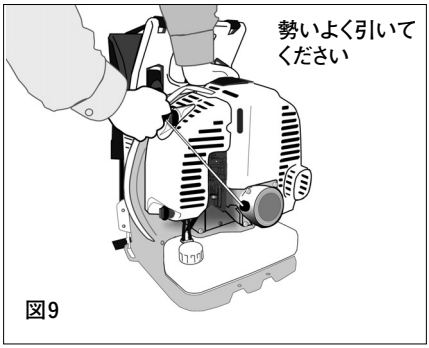


図9

⚠ 注　意

■　チョークレバーを上にあげて始動するとき、爆発音がしたら、必ずチョークレバーを下に戻して再始動して下さい。チョークを戻さないと燃料の吸い込みすぎになり、始動ができなくなります。

④エンジンが始動したら、チョークレバーを下の位置（|◆|）に戻してください。チョークレバーを完全に戻す前に停止した場合は、チョークレバーを上の位置（|◢|）にあげて再始動してください。
・爆発音がしてすぐに停止した場合は、チョークレバーを下の位置（|◆|）に戻して再始動してください。
⑤始動したら、２～３分間アイドリング状態で暖機運転してください。

（３）エンジンが暖まっているとき
①―③―⑤の順序で始動してください。

５－３　始動困難なとき

エンジンが暖まっている状態で始動しないときは、エンジンが冷えている場合と同じ方法で始動してみてください。それでも始動しない場合、またはエンジンが冷えた状態で始動しない場合は次の操作をおこなってください。

①プラグキャップを外します。
②スパークプラグをプラグレンチで反時計方向に回して外し、スパークプラグの電極部が濡れているかどうか調べてください。
③スパークプラグが濡れている場合はスパークプラグについた燃料をふき取り乾燥させてください。スパークプラグを抜き取った状態でリコイルスターターを数回引き、空転させて燃料をシリンダ内から追い出してください。

⚠ 警　告

■　火気を近づけないでください。火災の原因となります。

④スパークプラグを付属のプラグレンチで確実に取り付け、プラグキャップをつなぎます。エンジンが暖まっている場合の方法で始動してください。
⑤スパークプラグが濡れていない場合は燃料タンクから燃料が届いていないので、燃料フィルターやキャブレターを点検する必要があります。７－４項の点検をするか、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

5－4　エンジンの停止

（1）スロットルレバーを始動位置（アイドリング位置）にもどして、2～3分運転して、エンジンを冷やして下さい。

（2）エンジンが停止するまで、停止スイッチを押しつづけて下さい。

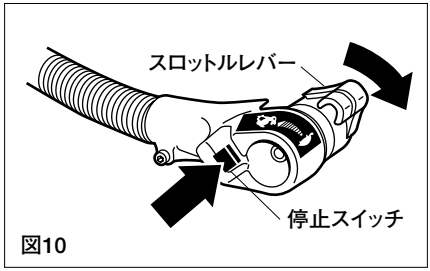


図10

5－5　アイドリング回転速度の調整

アイドリング回転速度を調整する際、パイプ類、ノズルとエアクリーナは所定の位置に組みつけられていなければなりません。パイプ類、ノズルがふさがっていたり、正しく取り付けられていない場合はアイドル回転速度が変わることがあります。

（1）平らな地面にブロワを置き始動してください。
　　2～3分、暖機運転を行ってください。

（2）回転計をお持ちの場合、アイドリング回転速度を2000min^{-1}になるように調整してください。
　　アイドル調整スクリュを右側に回すと回転速度が上がり、左側に回すと下がります。

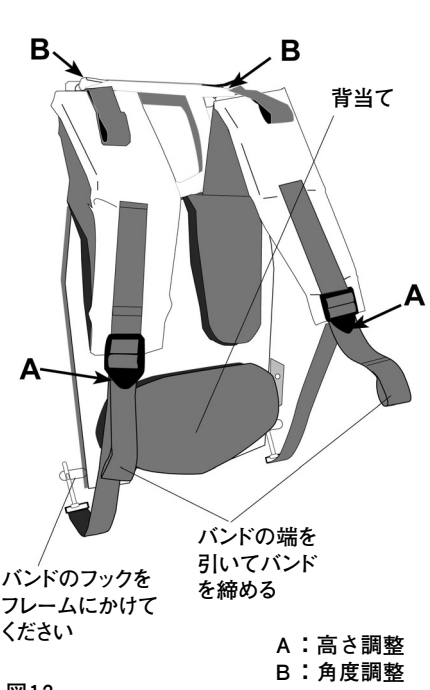


図11

6．運転

6－1　バンドの調整

使用者の体型にあわせて、調整しご使用ください。



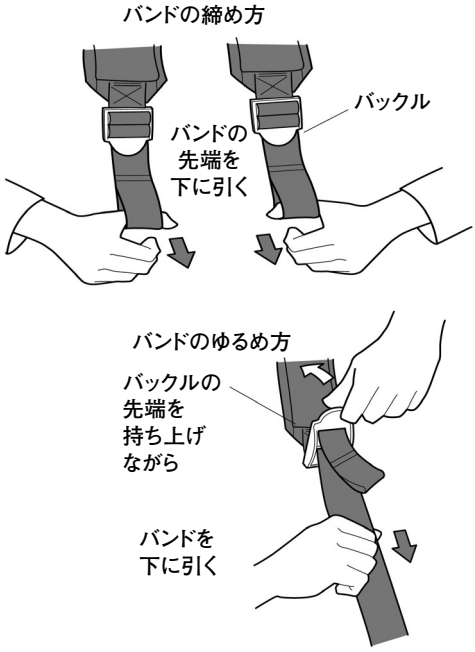


図12

6－2　操作

⚠ 注　意

- **作業にあたっては地域の騒音規制に従ってください。**
- **作業を行うのに必要最小限の回転になるよう、スロットルレバーを操作してください。**
  回転を上げると、音も大きくなります。
- **ブロワの吹き出し口や空気吸い込み口をふさがないでください。**
  回転が上がり過ぎてエンジンの故障の原因になります。

スロットルレバーを引くことにより、回転が上がり吹き出す風が強くなります。スロットルレバーで風の力を調整してください。

ノズルから吹き出す風で庭園の落ち葉や競技場での空き缶などが集められます。目安として次のエンジン回転（速度）で使用してください。

・低速：芝生、植木、花壇などの落ち葉の掃除
・中速：中庭、歩道、駐車場などの草や落ち葉の掃除
・高速：道路、駐車場、競技場などの砂利、ゴミ、雪、空き缶などの掃除

7．点検・整備

7－1　日常の点検・整備

⚠ 警　告

- **点検・整備は必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。**
- **ガソリンはたいへん引火しやすいので、点検・整備は風通しのよい火気のないところで行ってください。**
- **シリンダーフィンやマフラーの汚れはエンジンの過熱、焼き付きの原因となりますので、定期的に点検掃除してください。**

点検・整備表

項　　目		始　動　前	毎　　月	必要な場合
ボルト、ナット	点検、増締	○		
燃料キャップ、燃料タンク 燃料パイプ	漏れ点検	○		
エアクリーナー	掃除	○		
インテークカバー	点検	○		
キャブレター	調整			○
スパークプラグ	点検、掃除		○	
マフラー（スパークアレスター・テールパイプ）	掃除		○	（20時間毎）
シリンダーフィン	掃除	○		
燃料フィルター	掃除		○	
スロットルケーブル	調整			○

7－2　プリフィルター、フィルターの掃除

⚠ 注　意

■　傷が付いたフィルターやフィルターを取り外したままでは絶対にエンジンを運転しないでください。ホコリやゴミなどによりエンジンが故障します。

※プリフィルター、フィルターは乾式フィルターを採用しております。

（1）ノブを緩めエアクリーナーカバー、プリフィルター、フィルターを取り外してください。

（2）プリフィルター、フィルターに裂けや破損、汚れがないか確認してください。

裂けや破損がある場合は新しいものと取り替えてください。

汚れている場合は、掃除を行ってください。

・プリフィルターの掃除

石鹸水で清掃し、乾かしてからお使いください。

・フィルターの掃除

コンプレッサーで内側から外側に向けてエアーを吹き付けてゴミやホコリを吹きとばしてください。コンプレッサーがない場合には、はたいてゴミやホコリを落としてください。

フィルターは傷付きやすいためコンクリート等の堅固な物にたたきつけないでください。

（3）フィルター、プリフィルター、エアクリーナーカバーを元どおりに取付けてください。

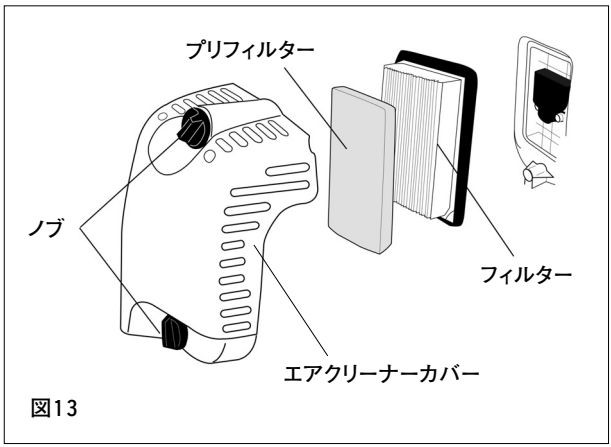


図13

7－3　スパークプラグの点検

⚠ 注　意

- **スパークプラグを外すときは、前もってスパークプラグとシリンダーヘッド部を掃除し、泥や砂などをシリンダー内に入れないようにしてください。**
- **スパークプラグを外すときは、必ずエンジンが冷えてから行ってください。シリンダーのネジ穴をいためます。**
- **スパークプラグは正しく取り付けてください。斜めに取り付けるとシリンダーのネジ穴をいためます。**

エンジンの始動性が悪くなったり、アイドリングが不安定になった場合は、スパークプラグを点検してください。

①プラグキャップを外し、スパークプラグを付属のプラグレンチで外してください。
②ワイヤブラシでスパークプラグの汚れを落とし、電極のすきまを確認してください。正しいすきまは0.6mmです。
③スパークプラグを手で締め付け、その後プラグレンチでしっかりと締め付けます。プラグキャップをしっかりと奥まで取り付けてください。

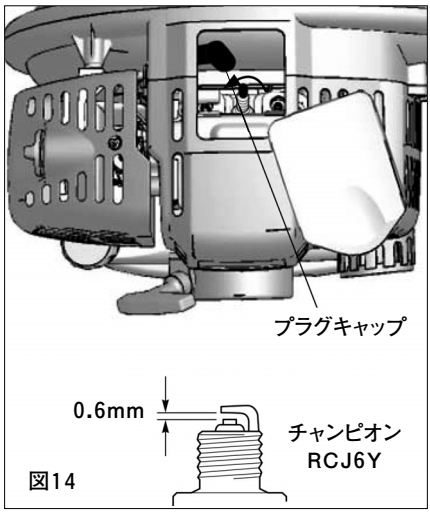


図14

⚠ 注　意

- **約100時間運転後、または電極の消耗がひどい場合はスパークプラグを交換してください。スパークプラグはチャンピオン製RCJ6Yをご使用ください。**

7－4　燃料フィルターの掃除

（1）機械全体、パイプ類に破損、緩み、部品の脱落がないか確認してください。
　　必要に応じて修理してください。

（2）燃料注入口から針金などで燃料フィルターを引き出し、先端のフィルターを取り外してガソリンでよく洗ってください。

（3）洗浄後、燃料パイプが折れないようにして、燃料フィルターを燃料注入口から燃料タンク内に戻してください。このとき、燃料フィルターが燃料タンク底に付いていることを確認してください。

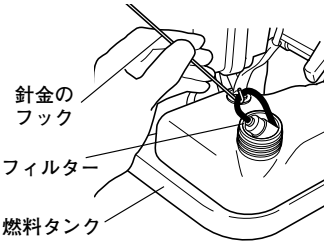


図15

7－5　マフラーの掃除

⚠ 警　告

- **マフラーおよびスパークアレスターが破損または脱落した状態で使用しないでください。**
- **使用した場合、火気による危険や聴覚障害の原因になります。**

（1）ヘキサレンチ（4 mm）でエンジンカバーのボルト5本を緩め、エンジンカバーを取り外してください。
（2）ドライバーを使い排気口のスクリュ2本を緩めカバー、スパークアレスター、テールパイプを取り外してください。
（3）樹脂製スクレーパーかワイヤーブラシを使いスパークアレスターからカーボンを取り除いてください。
（4）スパークアレスターの穴開き、曲がり、錆、その他の補修不能な破損がある場合は新しいものと取り替えてください。
（5）逆の手順で組み付けてください。
スクリュは緩まないよう、しっかり取り付けてください。

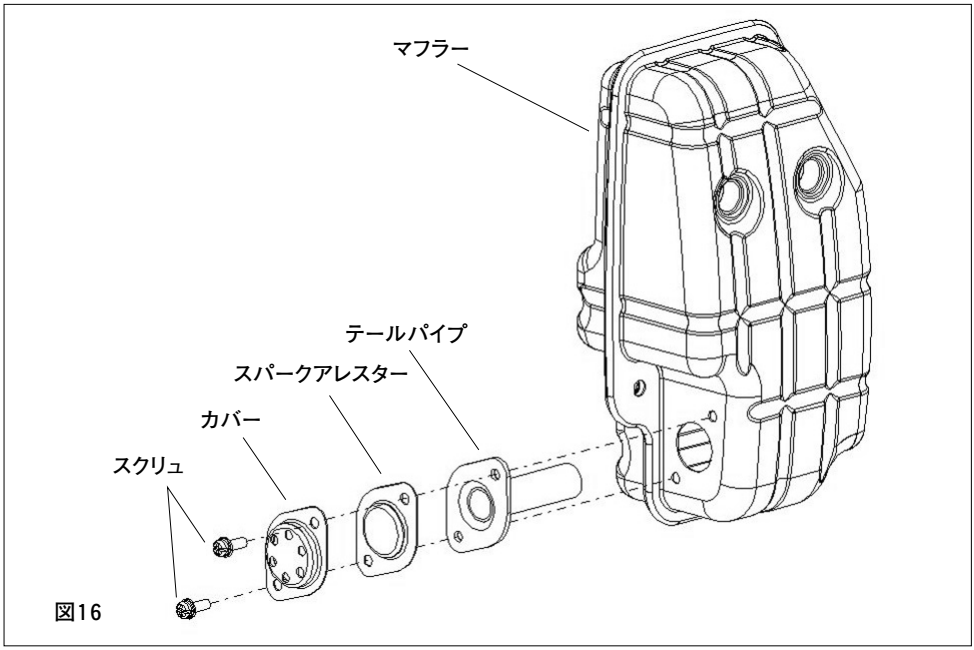


図16

8．長期保管

次の手順に従って保管してください。

①各部を十分に掃除してください。
②点検・整備の項を参考にして点検・整備を行ってください。
③燃料タンクの燃料を排出してください。
④エンジンを始動し、キャブレター内に残った燃料を使い切ってエンジンが停止するまで低速で運転してください。
⑤エンジン停止後、必ずスロットルレバーを始動位置（アイドリング位置）の位置にしてください。
⑥プラグキャップ、スパークプラグを外し、スパークプラグ穴から少量のオイルをシリンダー内に流し込み、オイルがゆきわたるように２～３回リコイルスターターを引いてください。
⑦スパークプラグ、プラグキャップをもと通りに取り付けてください。
⑧クリーナーカバーを外して、フィルターを掃除してもと通りに取り付けてください。
⑨乾燥した火気のない冷暗所に保管してください。

⚠ 注　意

■　燃料タンク、フューエルパイプ、キャブレターの中に燃料が残った状態で長期保管をしないでください。燃料が変質します。

9．故障の診断と処置

9－1　エンジンが始動しない場合

区　　分	原　　因	処　　置
エンジンが回転しない	・リコイルスターター不良	販売店で修理
	・ピストン焼き付き	販売店で修理
圧縮が弱い	･スパークプラグの緩み	締め付け、再始動
	・シリンダ､ピストン､ピストンリングの摩耗	販売店で修理
燃料の不良	・燃料の変質	新しい混合ガソリンと交換して再始動
キャブレターに燃料が来ない	・燃料フィルターのつまり	燃料フィルターを掃除して再始動
	・燃料パイプの破損	販売店で修理
スパークプラグが発火しない	・マグネトーの故障	販売店で修理
スパークプラグの点検	・スパークプラグが濡れている	スパークプラグを乾燥させ､リコイルスターターを数回引いてシリンダー内の燃料を排出し､再始動
	・スパークプラグのカーボンたい積	掃除し、再始動
	・スパークプラグのすきま不良	0.6mmに調整
	・スパークプラグが損傷又は種類が違う	新しいスパークプラグＲＣＪ６Ｙに交換

9－2　力がない場合

区　　分	原　　因	処　　置
エンジンの過熱	・長時間の過負荷使用	アイドリングに戻しエンジンを冷やす
	・キャブレター不良	販売店で修理
	・燃料混合比不良	正しい混合比の燃料と交換する
	・ファン、インテークカバー、シリンダーフィン、エンジンカバーにゴミが付着	ゴミ掃除
	・シリンダー内、ピストンにカーボンたい積	販売店で修理
	・マフラーにカーボンたい積	スパークアレスターを掃除
エンジンの回転むら	・プリフィルター、フィルターの目づまり	プリフィルター、フィルターの掃除
	・スパークプラグの締め付けがゆるいまたは不良	締め付けるまたは交換
	・燃料フィルター、パイプの詰まりまたはエア混入	掃除または交換
	・燃料に水の混入	燃料交換
	・ピストン焼き付き	販売店で修理
	・キャブレター不良	販売店で修理
ノッキング (ピストン部の異常音)	・エンジンの過熱	上記参照
	・燃料不良	燃料交換
	・燃焼室カーボンたい積	販売店で修理

9－3　その他の故障

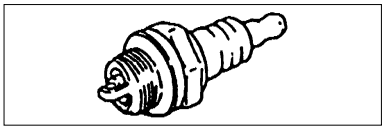
区　　分	原　　因	処　　置
加速不良	・エアフィルター目詰まり	エアフィルターの掃除
	・燃料フィルターのつまり	燃料フィルターの掃除
	・キャブレター不良	販売店で修理
	・アイドリング回転速度が低い	回転速度を上げる 2000±200min^{-1}
	・マフラーにカーボンたい積	スパークアレスターを掃除
	・ブロワのケースやブローパイプの漏れ､破損	販売店で修理
	・ファンにゴミが付着	販売店で修理
運転中にエンジン停止	・燃料の欠乏	燃料補給
	・燃料フィルター目づまり	燃料フィルターの掃除
	・燃料に水の混入	燃料交換
	・スパークプラグのカーボンたい積による短絡	掃除
	・プラグキャップの抜け	確実に取り付ける
	・マグネトー故障	販売店で修理
	・ピストン焼き付き	販売店で修理
エンジン停止困難	・停止スイッチの故障	販売店で修理
燃料の漏れ	・キャブレターのネジのゆるみ	販売店で修理
	・燃料パイプの破損	販売店で修理
	・燃料タンクの破損	販売店で修理

9－4　ブロワの異常

区　　分	原　　因	処　　置
ブロワの異常振動	・ファンの破損	販売店で修理
	・ボルトのゆるみ	締め付け
	・エンジンの損傷	販売店で修理
	・クッションの破損	販売店で修理
エンジンの過回転	・インテークカバー又はブローパイプのゴミつまり	ゴミを除去

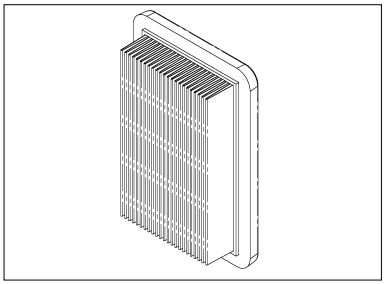
10. 主な消耗品（お買い上げの販売店にご用命ください）

スパークプラグ

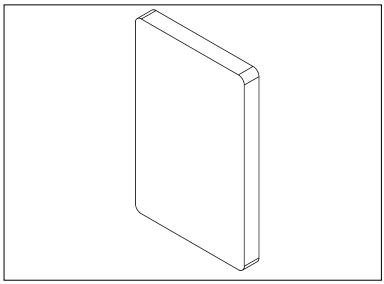


チャンピオン　ＲＣＪ６Ｙ

フィルター



プリフィルター



【メ　モ】

【メ　モ】

株式会社やまびこ

〒198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2　　Tel 0428-32-6181

やまびこ北海道株式会社
〒004-0041　北海道札幌市厚別区大谷地東 1-2-20　　Tel 011-891-2249（代）

やまびこ東北株式会社
〒984-0002　宮城県仙台市若林区卸町東 5-1-50　　Tel 022-288-0511（代）

やまびこ東部株式会社
〒198-0025　東京都青梅市末広町 1-7-2　　Tel 0428-32-1091（代）

やまびこ中部株式会社
〒452-0031　愛知県清須市西枇杷島町宮前 1-39　　Tel 052-502-4111（代）

やまびこ西部株式会社
〒701-0221　岡山県岡山市南区藤田566-159　　Tel 086-296-5911（代）

やまびこ九州株式会社
〒816-0943　福岡県大野城市白木原 5-3-7　　Tel 092-573-5361（代）

やまびこ産業機械株式会社
〒731-3167　広島市安佐南区大塚西6-2-11　　Tel 082-849-2005（代）

ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

X750 196-010 0

(C) 2011 株式会社やまびこ　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。